株式ジェイアール東海エージェンシー

名駅マーケティングレポート2017

"Meieki" Marketing Report 2017

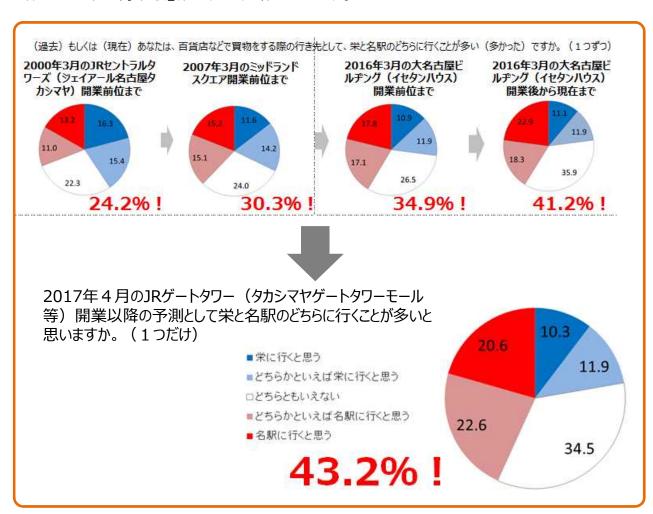
東海圏プロファイル調査2017として、人口構成比に合わせた全4202サンプル(ex名古屋市1,561票)の調査を実施しました。当社の視点で、『栄と名駅の利用状況の把握』として、地元の人々は『栄』と『名駅』をどのように利用し、何を求めているか等の調査結果の一部をご紹介いたします。

Vol. **1** 2017/05/30

『名駅』派、『栄』派・・・ 百貨店で買い物をする際の行き先は?

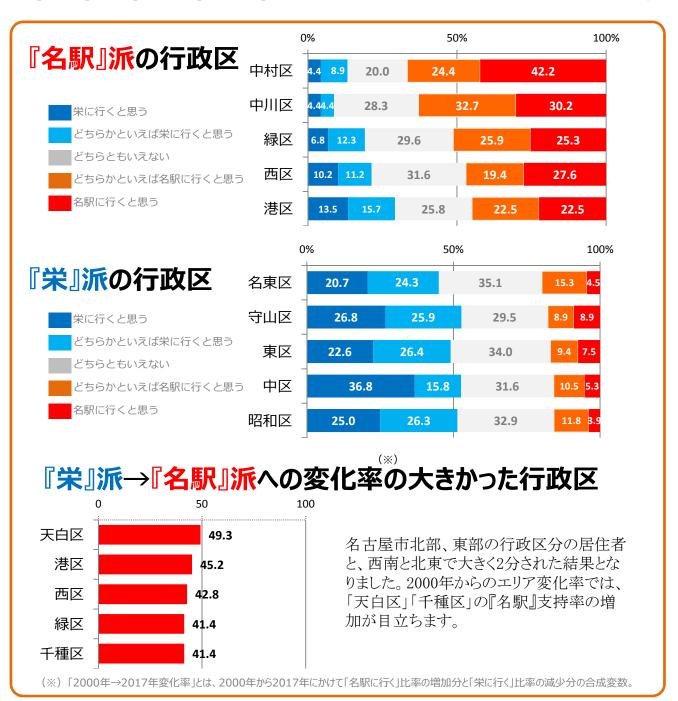
JRゲートタワー開業後、43%の方が『名駅』派に!

「2017年4月以降、あなたは、百貨店などで買物をする際の行き先として、『栄』と『名駅』のどちらに行くことが多いと思いますか。」と言う設問で、ジェイアールセントラルタワーズの開業から17年で、『名駅』派は約20%増えています。



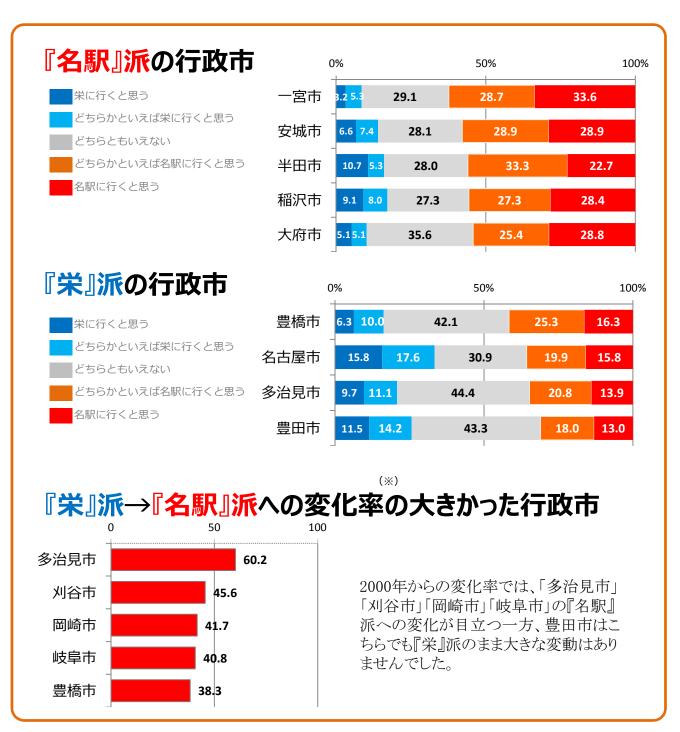
名古屋西エリアは『名駅』派、東エリアは『栄』派だが、 千種区・天白区などが徐々に『名駅』派へ・・・

前ページの結果を居住区別に名古屋市全体での結果から見ると、「中村区」「中川区」「緑区」 「西区」「港区」の西・南部方面での名駅エリアが高く、一方で栄エリア支持率が高いのは、「昭和 区」「中区」「東区」「守山区」「名東区」等の名古屋市東・北方面のエリアが高いことが分かります。



多治見・刈谷・岡崎など、JR沿線で『名駅』派への変化進む。

全調査行政市区分では、『名駅』エリアが高いのは、一宮市、安城市、半田市、稲沢市、大府市と名古屋市近郊の行政市が高い一方、「名古屋市」と「豊田市」は『栄』エリアが多いことがわかりました。



<調査概要>

東海圏プロファイル調査

■調査方法:インターネットリサーチ

■調査地域:名古屋市周辺の東海三県(愛知県・岐阜県・三重県)主要都市居住者

■調査対象:20~69歳男女 4,202サンプル

■割付方法:実際の人口構成に近似したサンプル数配分(例:名古屋市1,561サンプル)

■調査時期:2017年2月

■調査機関:株式会社ジェイアール東海エージェンシー オルフェウスコンサルティング株式会社

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー コミュニケーションデザイン部 担当:糟谷・鈴木

TEL: 052-566-3312 e-mail: s-suzuki@jrta.co.jp